

つながる すみだ人

私の好きな すみだ

今月の1枚

「ツリー&ツリー」

【撮影】高見澤 尚子さん

本コーナーへの写真を随時募集しています。
詳細は区ホームページをご覧ください。

【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223



柳家小もんさん(向島在住)

すみだを愛し、すみだで活躍する人をリレー形式で紹介する「つながる すみだ人」。お話を伺った方に次の方を紹介していただき、すみだを愛する人をつないでいきます。第58回は、向島を拠点に落語家として活躍されている柳家小もんさんです。

Q. すみだでどのような活動をしていますか？

向島を拠点に落語家として活動しています。区内では、前回の「つながる すみだ人」で紹介されていた押上文庫や、向じませんやといった飲食店をはじめ、各町会が開催する落語会に参加して高座に上がるなど、区民の皆さんに落語を広める活動もしています。

落語の仕事は“人を楽しませること”が第一なので、たくさんのお客さんに笑って喜んで

らえるよう、日々落語の稽古を重ねています。最近では、区内の落語会を通じて、人と人をつなぐことができ、この仕事の面白さと奥深さを改めて実感しています。落語の基本を大事にしながら、その新しい表現として、落語とライブペインティングのコラボレーション等にも挑戦しています。

Q. 現在の活動を始めたきっかけは何ですか？

大学生のときに落語研究会に入ったことが、落語を始めたきっかけです。中学生の頃に、母親に連れられて行った新宿末廣亭で、初めて寄席を覗いた時の衝撃が残っていたんですね。演芸場の建物や、着物、三味線など、昔ながらの落語の雰囲気にとっても憧れました。

大学の落語研究会に在籍していた頃は、とにかくたくさんのお客を覗いて、落語を学びました。現在の師匠でもある柳家小里んの落語が特に

好きで、プロになるならこの師匠の下に入門したいと考えていました。

大学卒業後、どうしても落語を続けたくて、柳家小里んが主任の興行に5日間連続で通い、最後は頭を丸めて、入門のお願いを直談判しました。その熱意が通じたのか、平成25年に入門を許され、平成26年に前座、平成30年には二ツ目に昇進し、現在は様々な演芸場で高座に上がっています。



▲高崎芸術劇場での興行にて

▼吉例納涼「住吉踊り」にて(浅草演芸ホール)



Q. 小もんさんは、すみだのどんなところが好きですか？

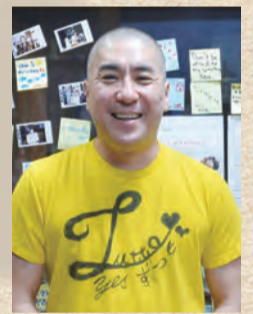
すみだに移り住んで10年くらい経ちますが、地元好きで、人好きな方が本当に多いですね。人と人のつながりを大切にしているように感じます。落語の仕事でも人と人のつながりを大事にしてきたので、私の性格に合っていて、とても住みやすいです。

また、すみだには落語に関する話もたくさん

あり、落語の寄席の基になった「噺の会」は向島の料亭が発祥の一つとされています。当時、本所に住んでいた大工の棟梁・烏亭馬場が中心となって、その会を開いていたようです。向島百花園もそうですが、すみだは江戸時代の名残があちこちに残っていて、古くからの文化や伝統を感じられる貴重なまちだと思います。

次回登場してくださるのは・・・

東向島で「向じませんや」を営みながら、地域食堂「みんなのいばしょ」の子ども支援活動にも取り組む沼田正善さんです。
【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223



夢

すみだで初の人間国宝が誕生！ 落語家・五街道雲助さん

墨田区長

山本 亨

10月18日、すみだで初めてとなる、重要無形文化財保持者(人間国宝)が誕生しました。本所出身の落語家・五街道雲助さんです。

11月1日、本所地域プラザにおいて、落語会が開催され、私もお祝いを申しあげました。

雲助師匠は、これまで文化庁芸術祭優秀賞、芸術選奨文部科学大臣賞、紫綬褒章を受章するなど、東京の落語界をけん引する演者の一人として活躍され、落語家として4人目の人間国宝となります。今回の認定では、幕末から明治期に活躍した先人の「古典落語」を、記録や速記本などから高座に復活させ、また独自の芸を磨いてお弟子さんたちに継承されてきた功績等が高く評価されたと伺っています。

雲助師匠が人間国宝となることで、令和3年以降、保持者不在となっていた「古典落語」が、再び重要無形文化財として再認定を受けることになりました。

当日の高座では、雲助師匠の渋く低い美声によって描かれる江戸の情景を思い浮かべながら、ご来場の皆さんと一緒に「古典落語」の世界を楽しみました。

すみだには、落語に登場するスポットが多くあり、これを契機に“落語のまち”として、すみだの魅力が大きく広がっていくことを期待しています。

これから冬本番を迎えるに当たり、季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症

の同時流行への備えが重要となります。年末に向けて体調管理には気を付けて、良い年をお迎えください。



本所地域プラザでの落語会にて、五街道雲助さんと

